5万分の1地質図幅の新刊

大　樹　TAIKI

5万分の1地質図幅
地域地質研究報告

著　者
松井　愈（北海道大学教養部）
佐藤　博之（地質調査所）
小坂　利幸（札幌西高等学校）
宮坂　省吾（北海道大学理学部）
笹島征士郎（札幌月寒小学校）
秋葉　力（北海道教育大学）
古谷　征靖（標茶町荻野小学校）
春日井　昭（北海道教育大学）

発　行　工業技術院地質調査所（1974. 3）
取扱先　東京地学協会（03）261－0809

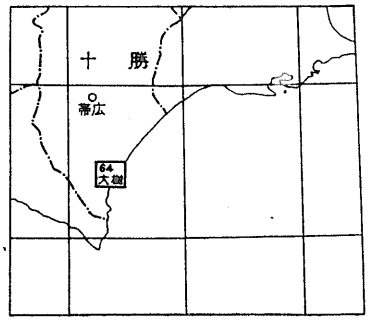
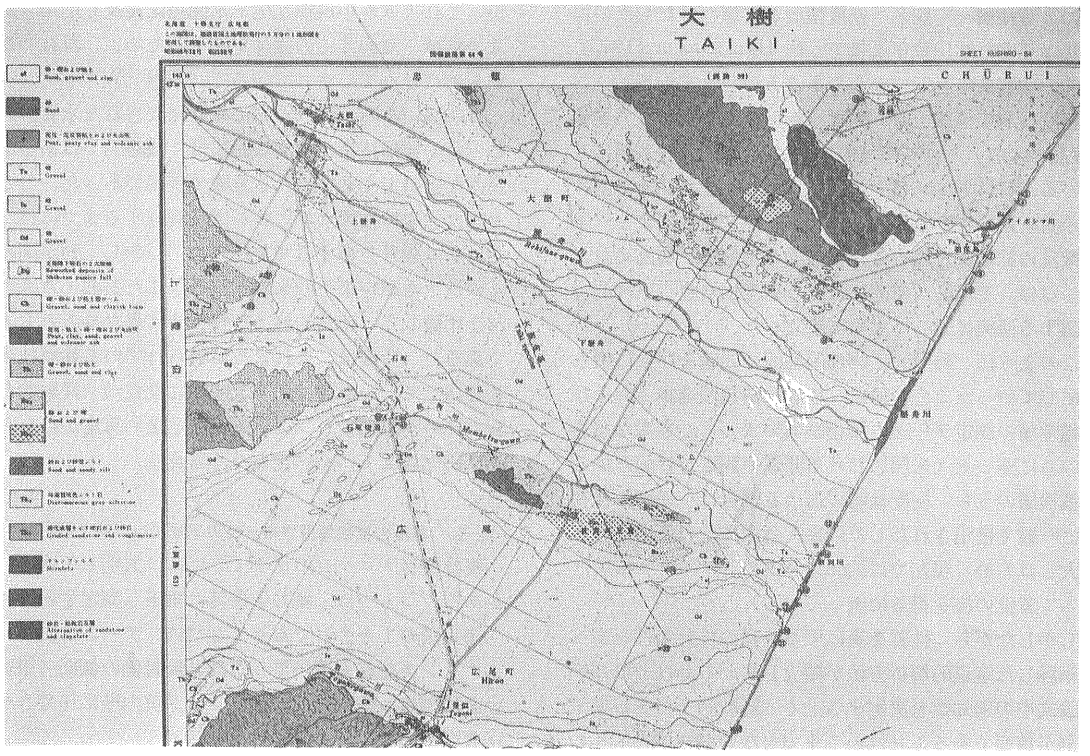
・本地質図幅は　昭和37年以来続行されている　十勝団体研究会による研究の成果にもとづいて作成された．

・対象は　十勝平野のおもに第四系であるが　南十勝地域における新第三系の構造・堆積物および古期扇状地群について日高山脈の浮き上りと関連させて　適確にとらえている．

・また　テフロクロノロジーの方法を駆使し　広く扇状地と段丘の対比を行ない　南十勝地域における火山灰層の岩質・編年・分布を追求している．

・さらに化石周氷河現象の詳細な記載は　最終氷期の地史の中に位置づけられ　北海道で最初のまとまった記載である．

・なお　この地域は本邦最初のナウマン象全骨格が産出されたところに近く　その第四紀地史の究明は　日本の第四紀研究のきわめて重要な意義をもっている．



位　置　図